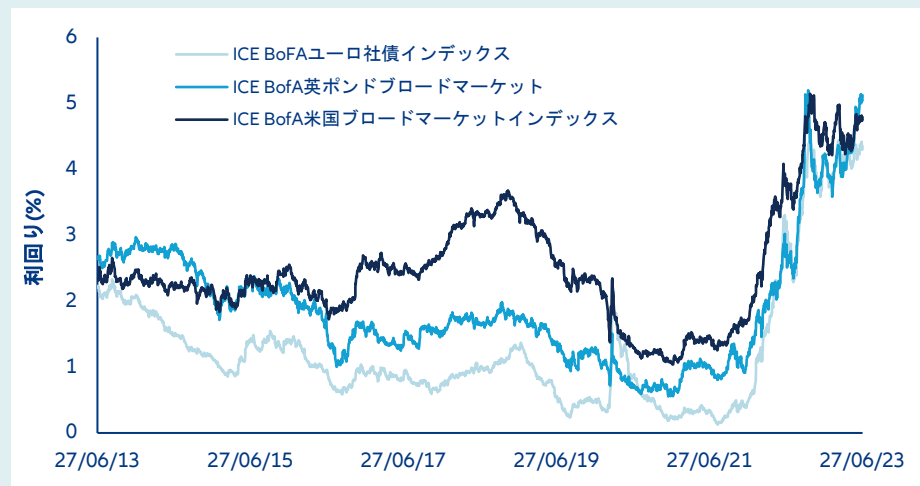


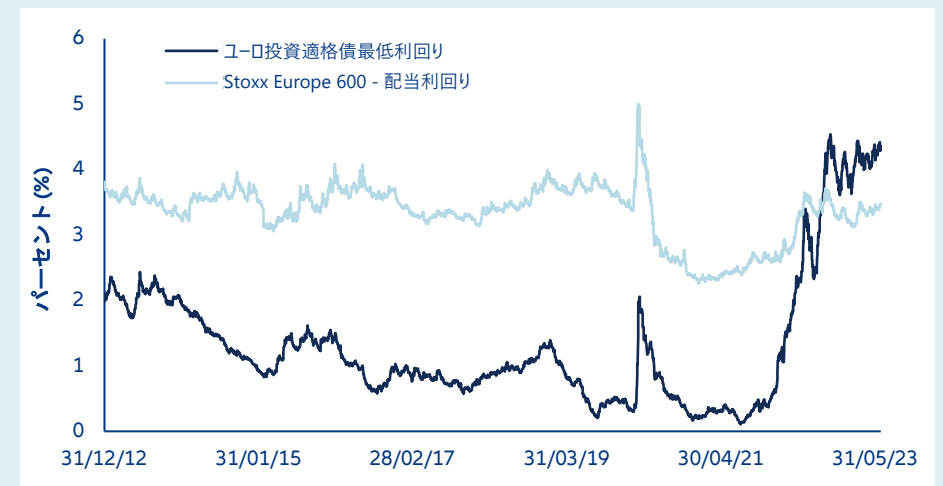
高金利のため、質の高い投資適格債（IG）¹でさえも魅力的な利回りを提供する可能性があり、再び株式配当に匹敵する収益の源泉となります。このため、予測確度の高い定期投資商品によって高利回りから利益を得ることを目指す投資家の間で、ターゲットマチュリティファンド²（TMF）の人気の高まっています。

債券利回りは、ここ数年の最高に接近



出所: AllianzGI, Bloomberg, as at 27 June 2023.

投資適格債の利回りは株式配当を上回る



出所: AllianzGI, Bloomberg, as at 27 June 2023.

- 直近数カ月のそれぞれの債券利回りが過去10年来最高の水準にまで上昇しているため、投資家にとって、TMFは予め定められた投資期間の中でリスクを管理しつつ、魅力的なバリュエーションから利益を確保する1つの方法となります。

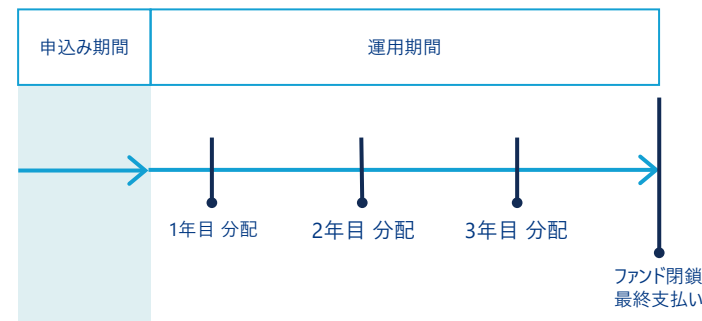
- ポートフォリオの安定性を確保するために多くの投資家が収益を求めている不透明な環境の中、質の高い投資適格債の利回りは、一部の地域において株式配当を上回っています。

ターゲットマチュリティファンドの潜在的なメリット

ターゲットマチュリティファンドの仕組み

- TMFは、投資期間が固定されている（通常3～5年）という点で、無期限の投資信託とは異なり、期間終了後はファンドが閉鎖され、資金は投資家に返還されます。
- 短期の申込み期間の後、マネージャーは分散化された債券ポートフォリオを購入します。多くの場合は、投資適格の社債およびサブリン債が中心ですが、TMFは、その目的に応じて、ハイイールド債や新興国市場債にも投資することがあります。
- 投資家は、固定分配金（債券のクーポンに類似した）による収益と、満期時に返還される初期投資額を受け取ることが期待されます。また多くのターゲットマチュリティファンドには、分配金がない代わりに終了時の支払いが高額な「累積株式クラス」³も提供されています。

例：4年物ターゲットマチュリティファンド



ターゲットマチュリティファンドの3つの特長



多様なリターン

- 定期的な分配金と満期時に初期投資額を償還するという目標により、TMFは、単独の債券の構造を模倣しています。
- ただし、投資家は、分散化された債券ポートフォリオおよびファンドマネージャーからの恩恵を受け、信用の分析、発行体の選別およびデフォルトリスクの最小化を行うことができます。
- TMFポートフォリオは、質の高い債券を中心として保有することが多いのですが、その多くが、投資家にとっての利回りを増やすために、ファンドマネージャーが低格付け債券に限定的な配分を行うことを許容しています。



確度の高い予測可能性

- ほとんどのTMFマネージャーは、リターンを追求するための債券の売買を行いません。開始時に購入する債券は、すべて満期まで保有することを意図しています。
- この「バイ・アンド・ホールド」戦略において、唯一の目標は、投資家に収益を支払い、満期時に元本を償還することです。デフォルトの可能性が高い場合のみ、ファンドマネージャーはポートフォリオから債券を売却します。
- 多くのTMFは、デフォルト、満期の不一致、再投資リスク、および債券売却に起因する実現損失から投資家のトータルリターンを守るために、年間の「リスクバッファー」を確保します。



リスクの明確さ

- ほとんどのTMFが「バイ・アンド・ホールド」の性質を有することが、金利リスクおよび市場リスクの軽減に貢献します。これは、満期まで保有すれば、債券価値の変動が分配やトータルリターンに影響を及ぼさないためです。
- このため、投資家は、金利やマクロ環境などの要因を観察する必要がありません。利回り、期間およびリスクレベルに納得すれば、それで良いのです。
- また、投資家は、TMFの「買入れ」や「売却」の時期を決定する必要もなく、投資期間は最初から固定されています。

3)累積株式クラスは、受け取った収益を株主に分配せずに、ファンドに再投資します。

【ご留意事項】

- 本資料は、アリアンツ・グローバル・インベスターズまたはグループ会社（以下、当社）が作成したものです。
- 特定の金融商品等の推奨や勧誘を行うものではありません。
- 内容には正確を期していますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている個別の有価証券、銘柄、企業名等については、あくまでも参考として申し述べたものであり、特定の金融商品等の売買を推奨するものではありません。
- 過去の運用実績やシミュレーション結果は、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料には将来の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における当社の見解または信頼できると判断した情報に基づくものであり、将来の動向や運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている内容・見解は、特に記載のない場合は本資料作成時点のものであり、既に変更されている場合があり、また、予告なく変更される場合があります。
- 投資にはリスクが伴います。投資対象資産の価格変動等により投資元本を割り込む場合があります。
- 最終的な投資の意思決定は、商品説明資料等をよくお読みの上、お客様ご自身の判断と責任において行ってください。
- 本資料の一部または全部について、当社の事前の承諾なく、使用、複製、転用、配布及び第三者に開示する等の行為はご遠慮ください。
- 当社が提案する戦略および運用スキームは、グループ会社全体の運用機能を統合したものであるため、お客様の意向その他のお客様の情報をグループ会社と共有する場合があります。
- 本資料に記載されている運用戦略の一部は、実際にお客様にご提供するにあたり相当程度の時間を要する場合があります。

対価とリスクについて

1. 対価の概要について

当社の提供する投資顧問契約および投資一任契約に係るサービスに対する報酬は、最終的にお客様との個別協議に基づき決定いたします。これらの報酬につきましては、契約締結前交付書面等でご確認ください。投資一任契約に係る報酬以外に有価証券等の売買委託手数料、信託事務の諸費用、投資対象資産が外国で保管される場合はその費用、その他の投資一任契約に伴う投資の実行・ポートフォリオの維持のため発生する費用はお客様の負担となりますが、これらはお客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)を通じてご負担頂くことになり、当社にお支払い頂くものではありません。これらの報酬その他の対価の合計額については、お客様が資産の保管をご契約されている機関（信託銀行等）が決定するものであるため、また、契約資産額・保有期間・運用状況等により異なりますので、表示することはできません。

2. リスクの概要について

投資顧問契約に基づき助言する資産又は投資一任契約に基づき投資を行う資産の種類は、お客様と協議の上決定させていただきますが、対象とする金融商品及び金融派生商品（デリバティブ取引等）は、金利、通貨の価格、発行体の業績・財務状況等の変動、経済・政治情勢の影響を受けます。従って、投資顧問契約又は投資一任契約の対象とさせて頂くお客様の資産において、元本欠損を生じるおそれがあります。ご契約の際は、事前に必ず契約締結前交付書面等をご覧ください。

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第424号
一般社団法人日本投資顧問業協会に加入
一般社団法人投資信託協会に加入
一般社団法人第二種金融商品取引業協会に加入